SONY

撮りかたガイド

詳しい操作方法は取扱説明書をご覧ください。
太字で記載した単語は取扱説明書の索引に掲載されています。該当ページを開く際にご活用ください。

弊社ホームページでも、様々な撮影テクニックをわかりやすくご紹介しています。「もっと“α”を楽しむ」
http://www.sony.jp/dslr/community/index.html

4-193-753-**01**(2)

かっこいい活躍を撮ろう
（動きの速いものを撮る）

シーンセレクションの（**スポーツ**）モードを使うと、動いているものを止まったように撮影できます。シャッターボタンを押し続けると、動きの変化を連続して撮影できます。

- オートフォーカスモードを AF-C（**コンティニュアス AF**）にするとシャッターボタン半押しの間、ピントを合わせ続けます。
- 屋内スポーツの撮影でブレた写真になるときは、モードダイヤルをS（**シャッタースピード優先**）にしてシャッタースピードを速くすると、動きの速いものも止まったように撮影できます。
- 屋内スポーツでは、**ISO 感度**を高く設定するとシャッタースピードを速くできます。

かわいい一枚を
（人物を撮る）

シーンセレクションの（**ポートレート**）モードを使うと、背景をぼかして人物が際立った写真が撮影できます。

- ズームレンズ使用時は望遠側にすると背景をよりぼかせます。
- モードダイヤルをA（**絞り優先**）にして絞りを変更すると、背景のぼけかたを変えられます。
- 強い逆光シーンでは、フラッシュを使ったり、**スポット測光**、**AEロック**などの機能を使うと人物を明るく写せます。

記念にみんなで撮ろう
（記念撮影）

モードダイヤルをA（**絞り優先**）にして、**絞り値**を8～11程度にしてみましょう。ピントの合う範囲が広くなり、後列の人物にもピントがあった写真が撮影できます。

- 三脚を使い、セルフタイマー撮影やリモートコマンダーも活用できます。

旅先の景色を１枚に
（風景を撮る）

シーンセレクションの▲（**風景**）モードを使うと、手前から奥までくっきりと、色鮮やかに撮影できます。

・モードダイヤルをＡ（**絞り優先**）にして絞り値を変えると、ピントの合う範囲を変えられます。
・モードダイヤルを▭（**スイング撮影**）にすると、広大な景色をそのままの迫力でパノラマ撮影できます。

きれいな夜景を残そう

シーンセレクションを☽（**夜景**）モードにして三脚を使うと、暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮影できます。

・シーンセレクションの☽✋（**手持ち夜景**）モードを使うと、三脚を使わずに夜景を撮影できます。
・人物を入れた撮影では、シーンセレクションを☽（**夜景ポートレート**）モードにして、三脚を使って撮影します。

花火の変化をとらえる

モードダイヤルをＭ（**マニュアル露出**）にして**バルブ撮影**に挑戦してみましょう。シャッターボタンを押し続けると、花火の光が尾をひくような写真を撮影できます。

・三脚を使いましょう。シャッターを開けたままにできるリモートコマンダー（別売）も撮影に便利です。
・打ち上げ花火は**マニュアルフォーカス**にして、あらかじめピントを決めるかピントを無限遠にして撮影してみましょう。
・**絞り値**は８～11程度にしてみましょう。
・花火の上がり始めから撮影を開始し、開いた花火を写します。撮影結果を見ながら絞りを変えて、明るさを調整しましょう。

近寄って撮ると新鮮
（マクロで撮る）

小さいものにより近づいて大きく撮影するときは、シーンセレクションの✿（**マクロ**）が最適です。

・思いきって近寄って撮影しましょう。（お使いのレンズによって、近寄れる距離（最短撮影距離）は異なります。）
マクロレンズ（別売）を使えば、より近寄って撮影できます。
・オートフォーカスでピントが合わないときは、**マニュアルフォーカス**で撮影しましょう。

おすすめアイテム
マクロレンズ　DT30mm F2.8